

## 第1回多可町就学前教育・保育検討委員会 会議録

日 時：平成22年5月19日(水)15:00～17:00

場 所：八千代地域局2階第1会議室

出席者：

委 員 鈴木委員、青山委員、上郡委員、有田委員、平位委員、安平委員、清水谷委員  
西田委員、仲田委員、岡本委員、吉田委員、萬浪委員、越川委員  
事務局 岸原教育長、藤本副課長、藤原課長補佐

○ 委嘱状交付

○ 教育長挨拶

○ 委員の紹介

○ 委員長副委員長の選出

委員長 鈴木 正敏 兵庫教育大学准教授  
副委員長 青山 眞澄 元キッズランド幼稚園長

○ 委員長副委員長就任の挨拶

○ 教育長諮問

岸原教育長が諮問文及び諮問理由を朗読した後、鈴木委員長に文書を手渡す。

○ 議長選出

設置要綱の規定により鈴木委員長を議長に選出する。

○ 会議運営方法の了承

①会議録の形態

主な発言内容について、発言者名をA、B、Cとして記載し読みやすいようにある程度語句を整理してまとめる。

②会議録の承認

委員長に事務局が取りまとめた会議録案を確認していただき、それで異議がなければ、各委員に届ける。

③公表の方法

会議録については、会議後おおよそ1ヶ月後を目処にウェブページに掲載する。

○ 資料説明

事務局より多可町の就学前教育・保育に係る資料を説明する。

○ 協議内容

- ・ 多可町の就学前教育・保育の現状について
- ・ 今後のスケジュールについて

委員長	公立保育所の現状と課題について。
F 委員	<p>K保育所は、90 人定員の公立保育所で昭和 59 年度に地区の小学校幼稚園とともに設立された。在籍児童数が 100 名近くいた頃もあったが、現在は 67 名。</p> <p>低年齢児童の途中入所が増加している。昨年度は 1 歳児 12 名を保育。今年度も 2 歳児が 12 名在籍しているが、部屋が低年齢児童用の施設としては対応おらず、保育が困難。</p> <p>保護者の就労希望が多く、低年齢の保育に力を入れたい。そのためには、保育士の確保が必要だが、幼稚園教諭と保育士の免状を持った人の確保が困難。</p> <p>嘱託職員への負担が大きく、若い人であると結婚出産などにより短期間で辞めざるを得ず、優秀な保育士の確保が困難。</p>
委員長	私立保育所の現状と課題について。
E 委員	<p>兵庫県保育協会多可支部について説明。県内の保育所は基本的に県保育協会に所属。東播磨地区のグループがあり、各地区で支部活動。多可支部は町内 6 保育所で活動。活動内容は研修や施設見学など。支部長は 2 ヶ月に 1 回東播磨地区支部長会議で各地区の情報交換し、多可支部の保育所へ東播磨地区の状況を報告。</p> <p>個人的には保育所幼稚園に関する会がやっと始まったという感想。</p> <p>認定こども園制度ができる時に全国的に有名であったのがキッズランドやちよで全国的なテレビでも取り上げられ、全国から視察がある先進的な施設。近隣市町で認定こども園化していく中、元々あった多可町で新しいことに乗っていくことができなかつたと感じる。</p> <p>本来幼稚園は、キッズランドやちよと同様3歳～5歳までの3年保育があり、3歳～5歳児の保護者は保育所か幼稚園を選択するのが全国的。多可町内では3地区の中でも、幼稚園の年齢統一が出来ない状態が継続していたが、やっと議論の場が出来た。</p> <p>A 保育園は90人定員。在籍児童数が120名近くいた頃もあったが、当時の年齢別在籍児童の80%、100名程度が4歳児。今年度の4歳児は31名で、初めて1つのクラスとなった。</p> <p>最近では低年齢児の入園が多い。新園舎を平成18年に開園し、年齢別の保育室を設計したが、3年経過後、予想を上回る低年齢児が入園。保育室の使い方が当初の予定とは異なる。児童数は減少し、入園児は低年齢化しているが、低年齢児の増加も限界があり、入園児童の減少に対する危機感がある。</p>

委員長	キッズランド及び公立幼稚園の現状と課題について。
G 委員	<p>問題点は、正規職員が少ない、嘱託職員にどこまで責任を持たせるか。正規職員増員が希望。キッズランドは保育に関わる職員が 25～26 名、給食調理員 4 名、子育てふれあいセンター職員、早朝 2 名、預かり保育 1 名、計 40 名程度職員がいるので、よい面もあるが、まとめるのも困難。</p> <p>多可町は 5 歳児 1 年保育が当たり前、4 歳までは保育所という考え方があり、アンケートにある幼稚園 1 年保育という結果につながる。他市町では 4・5 歳児の幼稚園が多いので、3 歳児からの受け入れはよい。旧町時代に 4 歳児から幼稚園を提案したが実現せず。3 年保育は困難も多い。</p> <p>キッズランド幼稚園部には夏休みが一週間ほどしかない。子どもにとって、もう少し長くてもよいのでは。</p>
委員長	併設幼稚園長、小学校長の立場から意見を。
D 委員	<p>幼稚園新入園児は 44 名、2 クラス職員 4 名で教育している。幼稚園は指導要領に基づき、週案の計画により実施。</p> <p>幼稚園児は朝、小学生と登園し、午後 2 時にバスで降園。小学生にとって、幼稚園児との登校はお兄さん、お姉さんらしさの意識ができ、小学校の立場からこの形態はよい。</p> <p>0～5 歳児が一つの施設で関わるのはよいが、5 歳児から上の児童との交わりをどうするかが課題。</p>
委員長	子育てふれあいセンターの現状と課題について。
H 委員	<p>昨年度まで中・加美・八千代の 3 センターがあったが、今年度からキッズランドやちよ内の子育てふれあいセンターが拠点となり、多可町子育てふれあいセンターとなった。各区と遠く支援が薄れるのではなく、職員が一つの場所に集まり、これまで以上に質の高い支援を行っていききたい。</p> <p>課題は、センターを利用していない人への支援。民生児童委員との連携により毎月発行の便りを直接届けるアプローチを行う。</p> <p>子育てふれあいセンターは、子育てのスタートにたった保護者に関わっていける重要な役割と認識している。</p>
委員長	児童館を通して見た就学前教育・保育の現状について。
I 委員	<p>多可町には中児童館、みなみ児童館がある。0～18 歳の子どもを対象に事業を展開。主な利用は小学生。</p> <p>0～3 歳児を持つ保護者が午前中に来館し、横のつながりを持っている。保育所に行っていない保護者の情報交換の場となっている。週に 1 回「しゃべってあ</p>

	<p>そぼう児童館」として、情報交換の場を提供。参加者は多い。</p> <p>みなみ児童館は学童保育も施設内で実施。今年度八千代区に学童専用施設が開館。加美区の北部と同様形態。中区は学校内に専用施設がある。</p> <p>土曜日の利用が少なくなっており、今年度は土曜日の学童を加美区内一カ所（みなみ児童館）で合同実施。</p>
委員長	加美区の現状と課題を保護者の立場から意見を。
A 委員	<p>子どもが現在保育所に入園。登園はバスを利用。楽しく通園している。</p> <p>心配点は、バスについて。バスルート、台数、保育所までの所要時間。</p>
事務局	現状の最長の所要時間は、きた保育所の約 50 分。
委員長	中区の現状と課題を保護者の立場から意見を。
B 委員	<p>就労している親にとって各行事への参加は負担だが、家庭とは異なる子どもの姿をみられるのはよい。</p> <p>多可町内に多くの幼稚園・保育所があるのは広いため仕方がないが、人数比で学校などの施設数が多い。この 10 年来で児童数が半分になっているのは問題。幼稚園が単年度保育で終わるのは問題。幼稚園で 1 カ所に集まり、2 つの小学校に別れ、中学校でまた 1 つになる、小学校区別の児童数に差異がある。</p> <p>保育所については、親の希望により入所先を選べるが、3 保育所→1 幼稚園→2 小学校→1 中学校の縮図は、児童を右往左往させている。</p> <p>年の離れた子どもがいるが、今、保育所でお世話になっている子どもは、文字などを学んでいるようだ。10 年程前の頃にはなく、違いを歴然と感じる。</p>
委員長	<p>時代の違いもあり、中区は一度分割し、一緒になる。本当は、0 歳から中学校までの義務教育終了時点までを見通して教育施策はあるべき。乳幼児期の体験がいかに思春期に影響を及ぼすかも含め、検討するべき。</p> <p>八千代区の現状と課題を保護者の立場から意見を。</p>
C 委員	<p>キッズランドの形態はよい。わたしが保育所の時は、保育所から小学校まで同じメンバーだったので、保育所と幼稚園の統合は平易に受け入れられた。「幼稚園」より、これからはキッズランドの形態がよい。</p> <p>わたしが保育所の時は、次に通う小学校の運動会に参加し、小学生との関わりもあった。八千代区は 3 小学校に分かれるので、仲のよい友達と別れ、子ども達の間関係が心配だが、現在は少人数で問題なく過ごせているのでは。</p> <p>小学校、中学校のことを考えてもキッズランドの形態がよい。</p> <p>保護者との話し合いでも、現状に問題はないとの意見が多い。</p>

	<p>気になる点は、多可町になってから、異動で知らない先生に入れ替わる、職員がキッズランドの運営に慣れていない点。</p>
委員長	<p>職員の異動、嘱託職員での対応により、入れ替わりはある。</p> <p>次に、多可町で長年保育現場に携わった経験からの意見を。</p>
L 委員	<p>保育所の0～2歳児の途中入所は、キッズランドで勤めた8年間、同じ推移で経過。</p> <p>キッズランドやちよを立ち上げた際、町は「入所の申し込みがあればいつでも受け入れなさい、その分人員はいつでも手配する」体制であった。</p> <p>国基準では1歳児は6人に1人保育士の配置があるが、キッズランドやちよでは、3人に1人基準であった。町として幼保の総合一体施設を立ち上げた、運営する力をつぎ込んでいたという思い。現在は、6人に1人となっている。町が幼児教育に対してどれだけ力をいれるか、職員からも取り組みのアピールをしていかないと保護者にも不十分となる。</p> <p>キッズランドやちよは地域に根付いていると思ったが、保護者は毎年新しい人であり、毎年繰り返し幼保一体化施設のすばらしさをアピールしていかなければと実感。</p> <p>幼稚園部に夏休みがないことは、施設を立ち上げる際に保護者の意見を聞き、職員の不満はないと思っていた。自身、保護者には、「キッズランドやちよ」の考え方を捉え、兄弟と一緒に有意義な夏の過ごし方を送れるよう、休みを取ってもよいと伝えていた保護者が夏休みの有無に関わらず自由に対応できるよう園から発信していかなければ。</p> <p>嘱託職員には負担が大きいと実感。保護者には正規職員か嘱託職員かはわからない。嘱託職員の中でも意識の差がある。職員一丸となり取り組むことが必要。</p>
委員長	<p>続いて、今後のスケジュール（案）について、事務局より説明を。</p>
事務局	<p>次回は町内の諸施設の見学を行いたい。</p> <p>予定では、キッズランドやちよ（子育てふれあいセンター含む）を見学した後、私立保育所、公立幼稚園の順にそれぞれ20分程度見学したい。その後、中央公民館で意見交換ができればと考えている。</p>
委員長	<p>ただ今の提案でよいか。（了承）</p> <p>それでは次回は町内の施設見学をお願いすることとし、本日の議事を閉めさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">（閉会）</p>